関西原子力懇談会

かんげんこん! News

No.115 July 2022

関西原子力懇談会第 12 回総会を開催

当会では、5 月 17 日に、3 年ぶりに大阪科学技術センターにお集まりいただいて、総会を開催しました。三島会長からは、「国民全体として原子力発電に対する理解や信頼回復については、まだまだ十分とは言えない状況です。一方、我が国の原子力政策については、新増設やリプレース、そして新型炉開発の議論が進むことが期待されます。このような状況で、関西原子力懇談会としても、これまで同様、会員の方々や関係者の皆様のお知恵をお借りしながら、何をなすべきか考えてまいりたい」と挨拶しました。

また、事務局からは、大神常務理事・事務局長から、「2022 年度の方向性については、2050 年カーボンニュートラル達成を見据えると、新増設・リプレースのエネルギー基本計画への明記は時間の問題であり、建設期間 15 年以上、運転期間 60 年を見据えると、更にこの先 100 年を原子力が担っていく時代に入ることを踏まえ、その時代に責任を持つ次世代層に対する理解活動を強化していく」と説明しました。

みなさまには、引き続き、当会への変わらぬご支援ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2022(令和４)年度 放射線取扱主任者受験対策講習会を実施 NEWS

放射線に対する正しい理解と安全な取扱技術を身に付けた放射線技術者を育成するため、1958 年から毎年、関西地域の各大学の放射線の専門家の先生方にご協力いただき、放射線取扱主任者の国家試験受験対策のための講習会を開催しています。

今年の講習会は、6 月 20 日～ 24 日に開催しました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、定員を減らしたうえで、ソーシャルディスタンス確保、マスク着用、手指の消毒、等に留意し 23 名の方が受講されました。

まもなく国家試験です（8 月 24 日～ 26 日）。
受講生の皆さんには、合格目指して最後の追い込みに頑張って頂きたいと思います。

VIEW 関西原子力懇談会　第 12 回総会　記念講演会

「ウクライナの戦争で塗り替えられる世界のエネルギー地図
～リスク高まる日独のエネルギー事情～」

作家　川口マーン惠美 氏

日本大学芸術学部音楽学科ピアノ科卒業。シュトゥットガルト国立音楽大学院ピアノ科卒業。『ドイツの脱原発がよくわかる本　日本が見習ってはいけない理由』（草思社）が第３６回エネルギーフォーラム賞の普及啓発賞、『復興の日本人論　誰も書かなかった福島』（グッドブックス）が第３８回同賞の特別賞を受賞。その他、著書多数。最新刊は『メルケル　仮面の裏側』（ＰＨＰ新書）、『無邪気な日本人よ、白昼夢から目覚めよ』（WAC）。『ドイツ見習え論が日本を滅ぼす』（共著・ビジネス社）、『ＳＤＧｓの不都合な真実』（共著・宝島社）。２０１１年より、ウェブマガジン『現代ビジネス』にてコラム『シュトゥットガルト通信』を連載中（毎週金曜更新）。

２０２２年５月１７日、関西原子力懇談会の第１２回総会が開かれ、記念講演会が大阪科学技術センター大ホールにて開催されました。約８０名の参加者が、ドイツのライプツィヒにも居を構える川口マーン惠美氏ならではの、日本ではあまり報じられていないドイツの側面に、興味深く耳を傾ける貴重な講演会となりました。

ドイツに住んで

私は、中学 3 年まで大阪に住んでいました。ドイツには、40 年前に音楽の勉強で参りました。本を書き始めて 30 年、最近では、エネルギー問題、難民移民問題、EU、主にこの 3 つをテーマに書いています。今日は、最近のドイツの、日本ではあまり知られていないことを織り交ぜてお話ししたいと思います。

最近のドイツの政治的歴史

キリスト教民主同盟のコール首相の政権が 16 年間続いた後、1998 年、社民党のシュレーダー政権となりました。社民党は緑の党と連立しましたが、この 2 党は脱原発を熱心に唱えてきた党で、この政権下で脱原発が決まります。もっとも、シュレーダー首相は、原発は一定の発電を終えたら停止していく、とし、期限は決めませんでした。

2005 年、政権はキリスト教民主同盟のメルケル首相に移り、社民党との連立政権となります。キリスト教民主同盟は、原発は必要、と考えていましたが、社民党との連立では、脱原発の方針を変えることは叶いませんでした。しかし、その後、第 2 次政権で連立相手が自民党に変わったことで、2010 年、原発の稼働年数を延長しました。

ところが、これが激しい国民の反発を招き、このままでは政権を失うかもしれないという懸念の高まっていた 2011 年、偶然、福島の事故が起こり、メルケル氏はこれを機に 2022 年までの脱原発へと、急旋回したわけです。

高まるガス依存

ドイツ人は、非常に冷静な国民ですが、一方で、理念を優先し、たとえ非現実的な話でも突き進むようなところがあります。そうなると、反対意見は一切受け付けない。原発に関しても、そうでした。

2022 年までに脱原発と決め、すごい勢いで再生可能エネルギーを増やし、また、同時に脱石炭も進めました。その結果、原発と石炭火力の代替はガスしかなく、さらに、再エネの変動バックアップもガスとなり、ガスの需要がどんどん高まりました。

ドイツ政府は現在、ガス逼迫をウクライナ戦争のせいにしていますが、これは 2021 年の初頭からすでに始まっていました。それが極端に悪化したのが、9 月ごろからです。そこに、さらに新型コロナの影響によるサプライチェーンの乱れや、カーボンプライシングの開始が重なり、急速にガス代、電気代の高騰、それに伴う新電力会社の経営破綻が始まりました。

ドイツとウクライナの関係

ロシアが、ガスや石油を輸出しているのは、今に始まったことではありません。冷戦のソ連時代、ポーランドやチェコといった東欧の衛星国に、安いエネルギーを供給していたばかりではなく、西欧にも常に輸出していました。しかし、ソ連が崩壊し、市場経済が導入されると、ロシアは旧ソ連邦の国々にも、昔のような値段でエネルギーを供給することはもちろんできません。ところが、ウクライナの国内にはロシアから西欧につながるガスパイプラインが通っていたため、値段の交渉が行き詰まると、ウクライナはしばしばロシアのガス輸送を妨害するようになりました。それがエス

カレートした結果、ロシアはドイツとともに、ウクライナを迂回した海底パイプラインを建設します。これが2011年に完成したノルトストリーム1です。このロシアからドイツへの直結パイプラインは、両国の経済を大いに潤し、その後、メルケル政権下で、さらにノルトストリーム2の建設が始まりました。

ただ、ドイツのロシアに対するガス依存度はそうでなくても高く、ノルトストリーム2が稼働すれば7割を超えると言われました。これではいずれEU全体がロシアのガスに依存してしまうということで、アメリカをはじめ多くの国が猛反対しました。特にウクライナにとっては、国家予算のかなりの割合を占めるパイプラインの使用料が入らなくなり、国の存亡に関わる問題です。しかし、それでもドイツはパイプラインの建設を強行するつもりだったため、ウクライナとの関係は、当時から険悪になっていたのでした。

ドイツの方向性

1つは、ロシアのエネルギーからの脱却です。ドイツは、ロシアからの石油の輸入を2022年、ガスの輸入を2024年でやめると言っています。また、再生可能エネルギーを増やし過ぎたことで電力供給が不安定になったにもかかわらず、それをさらに増やすつもりです。ただ、ドイツには露天掘りで採れる褐炭が十分にありますから、よほど困ったら、CO_2問題は一時棚上げにして、国産資源である褐炭を使うかもしれません。いずれにしても、全てがかなり混迷しています。

この課題を背負ってしまったのが、2021年12月に成立した社民党のショルツ政権です。連立する緑の党から経済・気候保護大臣になったハーベック氏は、地球温暖化対策をするはずだったのに、現在、ロシアガスの代替を探すために奔走しています。ただ、ドイツにはLNG基地がありません。今、慌てて2基造ろうとしていますが、これまでロシアの安いガスに依存してきた無防備が露呈しています。

アウトバーンの脇に立ち並ぶ風車

風車は3万本以上ありますが、バードストライクや立地が問題となって建設が止まっています。風況の良い北部から、産業の盛んな南部に超高圧送電線を3本敷設する計画は、10年経っても、まだ10%もできていないのではないでしょうか。あちこちで、騒音や景観の問題などで反対運動が起こっています。

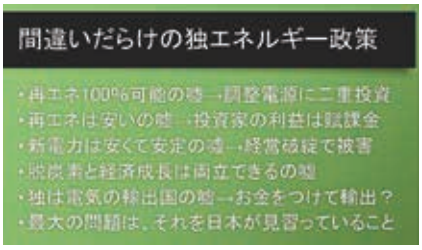
また、ドイツ人は森を大切にしますから、木を切ることは好まず、山を崩して太陽光パネルを並べることは絶対にありません。日本は、再エネによる環境破壊がすごいですから、この点だけは見習った方がいいですね。

もう1つは、国防です。安全保障が疎かになっていたので、今年の防衛予算に臨時で1000億ユーロ入れることが決まりました。日本円で13兆円超です。また、国防費をGDPの2%に上げる予定ですが、ドイツも金欠のため、細々とした修正が行われている最中です。

ドイツも日本も平和ボケ

日本ではあまり知られていませんが、ドイツも日本と同じく、かなり平和ボケしています。2021年暮れのウクライナの状況を見て、多くの国は戦争に備え始めましたが、ドイツのマスコミは不安をあおるようなことは書かず、政府は大晦日に予定通り原発3基を停止しました。ショルツ首相は、1月末になっても、まだノルトストリーム2を稼働させるつもりでいたほどです。すでに今、ガス不足が深刻になっていますが、日本もドイツも敗戦国で、平和教育が行き過ぎてしまったのか、国民の間にはまだあまり危機感はありません。

日本は強い国に　原子力を動かすべき



講演資料より

日本人はよくドイツを見習おうとしますが、これが問題です。私は10年も前から、エネルギー政策だけはドイツを見習っては駄目だと言い続けてきましたが、今、ようやく耳を傾けてもらえるかと思っています。ドイツの電気料金はこれからまだまだ上がります。日本人は今こそ、EU追随ばかりしていないで、自分たちのエネルギーはどうなるのかということを、自分たちで真剣に考えて欲しいと思います。

ドイツは、時に素晴らしいことを言って世界中を感心させますが、その後、実行していないことも多々あります。日本人は、それを真に受けて本当にやろうとすると、ハシゴを外されます。大切なのは、まずJapan firstで豊かな国になることです。質素に生きたい人は質素に生きればいいけれど、皆が質素にしか生きられないなら、それは貧しい国です。日本を貧しい国にしてはならない。国力がなければ、他の国を助けることも、民主主義や人権を守ることもできないし、こんな勤勉で優秀な国民と立派なインフラのある国ですから、一気に外国資本がなだれ込んできます。将来、私たちの子どもの上司がみな外国人になってしまったりしたら、とても悲しいではないですか。

だからこそ、強い国の礎を作るため、日本が今、しなくてはならないのは、一刻も早く原発を動かすことだと思っています。

本日は、どうもありがとうございました。

たまゆら

「関西原子力懇談会と靭公園」

関西原子力懇談会
参与　浦田 茂

はじめまして。5月に関西原子力懇談会(関原懇)参与を拝命しました浦田です。どうぞよろしくお願いします。

私の関原懇のイメージは大学の色んな先生方と繋がりを作ってくれて色んな発見を体験させてくれる団体であり、場所は靭公園の大阪科学技術センターにあるというもので、関原懇と言えばイコール靭公園でした。最近、時間に余裕ができて靭公園をゆっくり散歩することが多くなり色んな発見をしました。

まずは素晴らしい薔薇園です。仕事で関原懇に来る時は四ツ橋筋側の正面入口からしか行かなかったので、西側に薔薇の時期には様々な種類の薔薇が咲き誇っている立派な薔薇園があるとは露ぞ知りませんでした。

またなにわ筋を挟んで西側にはテニス競技場と沢山のテニスコート群があるのを見たときも話しには聞いていたものの感動しました。

しかし一番の発見は靭飛行場跡という石碑をなにわ筋に面した薔薇園側で見つけたことです。頭の中でなにわ筋を挟んであみだ池筋から四ツ橋筋に至る東西に細長い形の靭公園はまるで滑走路みたいだなとはぼんやり思っておりましたのでこの靭飛行場跡という石碑を見つけた時は小躍りしました。Wikipediaを見ても戦後に占領軍が土地を接収して常用飛行場として使用していたとあります。今は子供連れの家族が憩う平和で緑の木々が多い公園がかつては軍用飛行場だったとは驚きです。

その他、靭という名前は豊臣秀吉の時代の魚市場に由来するとか大阪科学技術センターは五代友厚の最初の自邸跡に建てられたとか色んな発見がありました。

この素晴らしい歴史を持つ靭公園の一角にある関原懇でこれから原子力に関してどんな発見をさせて頂けるのか楽しみにしております。

NEWS 学術振興奨学金の実施

当会では、2009年度より、関西および福井地域における原子力や放射線関連の研究活動の活性化を目的として、大学および高等専門学校の研究者助成のために奨学金制度を設けています。

厳正な審査の結果、2022年度は3件を採択しました。

(順不同・敬称略・2022年3月時点)

氏名	所属	研究件名
吉村　通央	京都大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学・画像応用治療学講師	免疫療法と併用するための最適な放射線照射方法のマウスモデルを用いた模索
岡野　成威	大阪大学大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻准教授	原子炉内表面に発生した孔食に対する封止溶接補修部へのフェーズドアレイ超音波探傷の適用性検討
神野　郁夫	京都大学大学院工学研究科 原子核工学専攻教授	低雑音電流敏感型前置増幅器を用いたコンピュータ断層撮影

訂正：No.114　7ページ29行目にて、1km^{2}であるべきところを1kw^{2}と誤っておりました。お詫びして訂正いたします。

原子力産業セミナー2024

かんげんこん! News　関西原子力懇談会　http://www.kangenkon.org
No.115　2022年7月発行　〒550-0004　大阪市西区靱本町1丁目8番4号　大阪科学技術センター5F　TEL. 06-6441-3682